

栄養管理部 栄養指導管理室

■ スタッフ

部長	伊藤 正明	
副部長	矢野 裕	
管理栄養士		
病院長顧問(管理栄養士)		1名
常勤(管理栄養士)		2名
非常勤(管理栄養士)		3名

■ 部門の特色・業務内容

糖尿病、肝疾患、腎疾患、高コレステロール血症、肥満、高血圧、胃・腸疾患、先天性代謝異常症、癌化学療法、術前術後の栄養管理など、病態が1人1人違うように、食事療法もそれぞれ異なります。

栄養指導管理室では、専任の管理栄養士5名が、患者さん1人1人の栄養アセスメントに基づいて栄養指導を継続的に実施し、オーダーメイドの栄養療法によって治療効果を上げています。特に三重大学は栄養指導に理解のある医師が多く、栄養指導件数は年々増加しています。

1. 栄養指導

1) 個人指導

管理栄養士が専用指導室にて、患者さんとご家族の方に、病状にあわせわかりやすく指導しています。

指導日：月～金曜日 8：30～17：00
(祝日・年末年始を除く)※予約制、随時もあり

2) 集団指導

医師を中心としたチーム医療体制で運営しております。

肝臓病治療食教室では、全国初の、肝臓病治療食の調理実習及び試食を含んだセミナーを実施しています。

- ・糖尿病教室〈毎週金曜〉
- ・両親学級〈毎週水曜〉
- ・肝臓病教室〈隔月〉
- ・肝臓病治療食教室〈隔月〉
- ・メタボリックシンドローム教室〈隔月〉
- ・メタボリックシンドローム治療食教室〈年1回〉
- ・膵がん教室〈隔月〉



2. 栄養アセスメント 肝臓病治療食教室

1) 体内成分測定(InBody720、InBody S10)

栄養指導前の栄養評価として、体組成測定を採用しています。体重だけでなく体脂肪量、骨格筋肉量、筋肉バランス、内臓脂肪、浮腫の程度の測定を行っています。

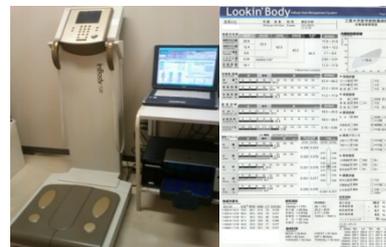


図2. 体組成計、測定結果用紙

2) 間接熱量計(エアロモニタ、フィットメイト)

呼吸商(RQ)を測定し、入院患者に対する術前術後の確かな栄養評価、外来患者では基礎代謝や消費エネルギーを加味した栄養評価を実施しています。

3) 握力計(握力測定)

体組成計による骨格筋肉量(筋量)の測定に加えて、握力計による握力(筋力)測定を行い、サルコペニアの評価を行っています。

3. NST・チーム医療

1) 消化器肝臓内科NST回診(毎週)2003年開始

消化器肝臓内科カンファレンス(毎週水曜日)
また、肝臓病教室、肝臓病治療食教室は医師、管理栄養士、薬剤師、看護師のチーム医療として運営しています。

2) 腎移植・栄養カンファレンス(毎月)2012年開始

腎泌尿器科医師、移植コーディネータ看護師、管理栄養士で月1回、腎臓移植レシピエント及びドナーの栄養治療方針についてカンファレンスを行っています。

第50回日本移植学会(2014.9)において、腎移植栄養チームで取り組んだ腎移植前患者



の栄養管理について、服部が発表しました。

図3. 日本移植学会 ポスター発表

3) 腎臓内科・栄養カンファレンス(隔月)2012年開始

腎臓内科医師、管理栄養士が隔月で腎疾患患者の栄養治療についてカンファレンスを行います。

4. 新病院レストランプロジェクト

1) 12F 中華レストランヘルシーメニュー監修

大学病院の栄養管理においては、複雑な合併症を伴う慢性疾患、周術期・癌患者の栄養維持など入院日数の短縮から特に外来への連携が重要であることから、外来で気軽に治療食を利用できるよう、2012年1月より減塩ヘルシーメニューを導入しました。

中華料理の特性を生かしながら、減塩でも美味しい組合せと、低カロリーでも満足感が得られるメニューを提供しています。ヘルシー日替弁当は、現在10種類が提供されております。



図5. ヘルシー日替弁当J
(500kcal 塩分2g)

2) 相可高校調理クラブ「ヘルシーコラボ弁当」第2弾

2013.3より、メタボリックシンドローム教室では、相可高校調理クラブ・村林新吾先生と学生による調理実習を導入しました。病院12F レストランと栄養指導管理室による「ヘルシーコラボ弁当」の試食を組み入れた、メタボリックシンドローム治療食を年1



図6 相可高校調理クラブとのコラボレーション



5. 産学官連携

1) 鳥羽マルシェ

鳥羽では魚を中心とした料理が多く、ついつい栄養が偏ってしまいがちです。鳥羽マルシェでは農産物と水産物がバランスよく組み合わせられた健康メニューを岩田顧問が監修しました。メニューをはじめ、食器などのテーブルウェアにも工夫を施しました。

図8. 鳥羽マルシェ料理監修

2) アクアイグニス aquaxignis 低脂肪パイ

パティシエ辻口博啓氏が岩田顧問と三重県との共同で「伊勢海老」「松阪牛」「ひじき・あかもく」の3種類の低脂肪パイ(従来品よりカロリーを約20%減)を開発しました。栄養量表示には、食品成分表を用いた栄養価計算に加えて、食品カロリー測定器「カロリーアンサー」も使用しました。

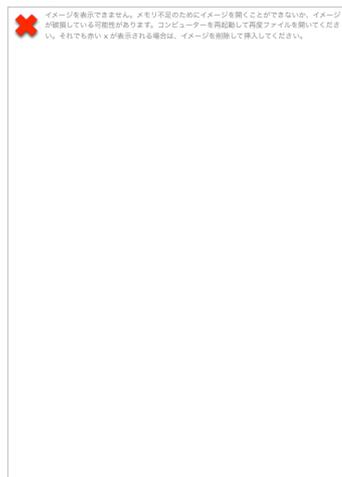


図9. 2014. 11 中日新聞

6. 病院長裁量プロジェクト

1) 減塩プロジェクト

昨年5月に開催された「減塩プロジェクト」を、循環器内科×栄養指導管理室による病院長裁量プロジェクトとして継続しています。

今年度は栄養指導介入での減塩の効果を科学的に立証するため、「電子式食塩センサー」による食塩摂取量の評価、通信型血圧計を用いた血圧測定を組み入れました。第3回臨床高血圧フォーラムでは石留がチーム医療優秀演題賞を受賞しました。

7. その他

3) パープルリボン in 津 2014

膀胱撲滅市民公開講座「パープルリボン in 津 2014」では、12F レストラン四韓折々の協力を得て、“パープルパン”を作成しました。今年はボランティア高校生さん達に協力頂き賑やかなラッピング作業となりました。

パープルパンは当日のウォークラリー参加者には完歩走記念としてゴール後にプレゼントされ、150個限定で販売しました。



図10 パープルパン作成・栄養食事相談ブース

実績

1) 平成26年度 栄養指導件数

疾患別区分	個人指導				計
	入院		外来		
	加算	非加算	加算	非加算	
常食	0	10	0	10	20
軟食	0	0	0	13	13
小計	0	10	0	23	33
口腔・咽頭・食道疾患食	3	2	7	1	13
胃・腸疾患食	14	2	137	5	158
肝・胆疾患食	198	26	1267	61	1552
膵臓疾患食	31	9	93	11	144
心臓疾患食	124	8	551	8	691
高血圧症食	35	0	432	17	484
腎臓疾患食	248	23	1593	91	1955
貧血症食	6	0	1	0	7
糖尿病食	348	49	2512	248	3157
肥満症食	10	3	193	24	230
脂質異常症	21	1	434	23	479
痛風食	0	0	10	0	10
先天性代謝異常症食	0	0	9	0	9
妊娠高血圧	11	2	14	1	28
アレルギー食	0	0	2	0	2
食欲不振食	0	0	10	0	10
術後食	7	1	4	0	12
濃厚流動食	1	0	0	0	1
乳児期食	0	0	0	3	3
その他	4	3	6	26	39
小計	1061	129	7275	519	8984
合計		1200		7817	9017

疾患別区分	集団指導				計
	入院		外来		
	加算	非加算	加算	非加算	
常食	0	2	0	0	2
小計	0	2	0	0	2
肝・胆疾患食	9	0	72	2	83
膵臓疾患食	0	7	0	4	11
心臓疾患食	1	0	5	0	6
高血圧症食	2	0	51	8	61
腎臓疾患食	3	0	8	2	13
糖尿病食	83	8	52	3	146
脂質異常症	1	1	14	0	16
その他	0	24	0	183	207
小計	99	40	202	202	543
合計		141		404	545

2) 論文/著書

- 1) Iwasa M, Hara N, et al, Evaluation and prognosis of sarcopenia using impedance analysis in patients with liver cirrhosis Hepatology, Research 2014:E316-E317
- 2) 原 なぎさ 肝硬変患者の体組成の特徴と生命予後 -内臓脂肪、サルコペニアを中心に- 中外医学社 p132-135 2014.10
- 3) 岩田加壽子 がん病態専門管理栄養士のためのがん栄養療法がトピック デジタルレビュー-2015.1
- 4) 岩田加壽子 糖尿病のサルコペニア肥満の発症頻度と加齢との関連 栄養と評価. Vol32. No. 1. 20-23.

- 5) 岩田加壽子 Part II 症例と向かい合う 肝硬変代償期症例から学ぶ 臨床栄養教育テキスト 第2版. 医歯薬出版 p119 頁-124 頁.

3) 学会

- 1) 岩田加壽子 「糖尿病患者におけるサルコペニア肥満の発症頻度と加齢の影響」第38回日本栄養アセスメント研究会 2014.5 (盛岡)
- 2) 原 なぎさ「肝硬変患者の体組成と生命予後-性差を中心に-」第38回日本栄養アセスメント研究会 2014.5 (盛岡)
- 3) 鈴木 優里 「肥満度による食行動の違いについて」第38回日本栄養アセスメント研究会 2014.5 (盛岡)
- 4) 原 なぎさ「糖尿病における内臓脂肪と脳・心血管イベントの関連性」第57回糖尿病学会 2014.5 (大阪)
- 5) 石留真寿美 「降圧治療における減塩モニタと栄養指導の臨床的効果の検討」 第3回臨床高血圧フォーラム 2014.5 (広島)
- 6) 岩田加壽子「MF-BIA of Body Composition in Patients with Liver Cirrhosis: Survival Prognosis and Sex Differences」 第13回KSPEN 2014.6 (ソウル)
- 7) 原 なぎさ「肝硬変におけるサルコペニア肥満の病態への関与」肝と栄養の会 2014.8 (東京)
- 8) 服部 文菜「腎臓移植後肥満患者に対するチームによる栄養指導の効果と課題」 第50回日本移植学会 2014.9 (東京)
- 9) 原 なぎさ「肝硬変における血清フェリチンと体組成」第38回鉄バイオサイエンス学会 2014.9 (仙台)
- 10) 原 なぎさ「肝硬変患者における内臓肥満とサルコペニアが生命予後に及ぼす影響」 第1回サルコペニアフレイル研究会 2014.10 (東京)

- 11) 原 なぎさ「肝硬変患者の継続栄養療法は骨格筋量を増加させる-BIA法を用いた2年間の体組成測定値の変化-」 第18回日本病態栄養学会 2015.1 (京都)
- 12) 石留真寿美「降圧治療における塩分摂取量簡易測定と栄養指導の効果」 第18回日本病態栄養学会 2015.1 (京都)
- 13) 服部 文菜「肥満患者の食行動-男女別にみた体組成測定と食行動質問票から-」 第18回日本病態栄養学会 2015.1 (京都)
- 14) 寺坂枝里子「入院糖尿病患者における集団教室後の外来個人栄養指導継続の必要性」 第18回日本病態栄養学会 2015.1 (京都)
- 15) 服部 文菜「生体腎移植ドナーへの栄養指導介入の効果」 第48回日本臨床腎移植学会 2015.2 (名古屋)
- 16) 服部 文菜「CKD 肥満患者の食行動」 第29回JSPEN 2015.2 (神戸)

他

4) 講演

- 1) 岩田加壽子「肥満の栄養アセスメントと栄養療法」三重乾癬を考える会 2014.4 (津)
- 2) 原 なぎさ 「肝硬変患者の栄養アセスメント～体組成の特徴と生命予後～」 第10回肝疾患病態栄養研究会 2014.6 (津)
- 3) 原 なぎさ 「肝硬変患者の体組成の特徴と生命予後～当院の取り組み～」 肝硬変栄養治療フォーラム 2014.6 (神戸)
- 4) 服部文菜「当院の肥満アンケート結果」 Diabetes&Obesity Symposium 2014.6 (津)
- 5) 石留真寿美「SGLT2 阻害薬と食事の注意点～糖質摂取との関係～」 CDEのための講習会 2014.9 (津)
- 6) 服部文菜 「腎臓移植レシピエント・ドナーの栄養指導」東海腎移植研究会 (新緑会) 2014.11(名古屋)
- 7) 原 なぎさ 「肝硬変の栄養療法は生命予後

を改善するー当院における肝臓 NST の取り組みー」第 18 回日本病態栄養学会 シンポジウム 2015.1 (京都)

- 8) 岩田加壽子「アミノ酸治療における臨床での管理栄養士のかかわり」 第 18 回日本病態栄養学会 シンポジウム 2015.1 (京都)
- 9) 原 なぎさ 「肝硬変の栄養療法の実際ー当施設での取り組みー」第 18 回 日本病態栄養学会 ランチョンセミナー 2015.1 (京都)
- 10) 原 なぎさ 「サルコペニアおよびサルコペニア肥満を合併した肝硬変患者の生命予後とその対策」第 6 回 Liver Nutrition Conference in TOKAI

■ 臨床研究 (2014 年度)

- 1) 糖尿病透析予防指導管理に関する実態調査 (2013.3～) 糖尿病内科/循環器・腎臓内科
- 2) 膵癌の栄養療法実態調査 (2015.1～) 肝胆膵移植外科/消化器肝臓内科

■ 今後の展望

平成 27 年 5 月の新外来棟開院に合わせ、治療食教室が「グルメディカルスタジオ」として新外来棟 4F に開講します。従来の教室に加えて新たな教室も開講予定です。今後も広く診療科の要望にも応えていきたいと考えております。

 <http://www.hosp.mie-u.ac.jp/> (ホームページ)